

【平成28年度 第1回提出】業務棚卸評価シート

1 事業の概要と実績

No.	10			シート作成者		-	-
事務事業名	学校備品等の廃棄			事務区分	自治事務	部課かい名	教育総務部 教育総務課
事業の目的	学校内に不要備品類があふれず、諸室が有効利用されるようにする。			事業の目標	廃棄物の削減		
事業の概要	法令にしたがって適正に処理できるよう専門事業者処理を委託する。						
対象	市立小中学校			事業の性質区分	定例・定型	業務計画	<input type="checkbox"/>
指標	処理量(第2次実施計画) 学校備品等の廃棄物の処理量(第3次実施計画)						
27年度(第2次実施計画)		28年度(第3次実施計画)		29年度(第3次実施計画)		30年度(第3次実施計画)	
目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
20,000kg	137,363kg	50,000kg		50,000kg		50,000kg	
実施計画事業費		27年度	28年度	29年度	30年度	※金額については1円単位で記入してください	
事業費	予算額	3,507,000	2,912,000	2,419,000	2,116,000		
	決算額	3,494,610					
	執行率	99.6%					
	従事者数	0.35	0.33				
	職員	0.35	0.33				
	臨時・非常勤等						
財源内訳	特定財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
一般財源	3,494,610	2,912,000					

2 事業実施状況に対する評価

事業の必要性	
<p>老朽化等により廃棄すべき備品が毎年発生してしまう状況にあり、教室等の有効利用を図るため、備品の廃棄を行う必要がある。</p>	
事業実施状況に対する分析(課題の抽出)	
事業成果	<p>平成27年度は、137,363kgの備品を廃棄し、目標を大幅に達成することができた。しかしながら、平成28年度は、平成27年度に比べ備品廃棄に係る予算が減少しているため、限られた予算の中で、より効果的に行うよう検討が必要がある。</p> <p>また、これまで廃棄量でしか事業についての検証を行っておらず、転活用による備品の有効利用等についての検証についても、検討が必要である。</p>
事務効率	<p>小中32校の備品を回収する際、職員の立ち合いが必要となるため、数日間の立ち合い業務が生じている。</p> <p>その中で、各学校の希望の時間に訪問するため、巡回ルートが非効率となっている。</p>
<div style="text-align: center;">↓</div>	
事業成果及び事務効率に対する評価	
<p>成果があがっているが、実施手法は効率的でない</p>	

3 今後の事業展開(事務改善)

今後の事業展開(事務改善)	
改善の方向性	27年度の評価を踏まえた28年度以降の取組内容
事業(活動)の効率・成果を高める	<p>平成28年度は、備品の転活用を積極的に行い、限られた予算の中で、教室等の有効利用ができるようにする。</p> <p>備品への手入れ、修繕により、廃棄備品の減量、備品更新時の必要性の精査など、備品の適正管理を徹底する。</p> <p>備品廃棄について、効率的なルートで巡回できるよう、実施時期等の検討を行う。</p> <p>事業内容として、廃棄のみでなく、減量化や有効活用も含めることを検討したうえで、第4次実施計画への位置付けについて検討する。</p>

4 事業を構成する活動に係る改善内容


[illegible][illegible][illegible][illegible]

【平成28年度 第1回提出】業務棚卸評価シート

1 事業の概要と実績

No.	3			シート作成者		-	-	
事務事業名	教育委員会表彰の事務			事務区分	自治事務	部課かい名	教育総務部 教育総務課	
事業の目的	教育委員会所管の学校及び団体並びに個人の功績を表彰する。			事業の目標	できるだけ多くの人々が、茅ヶ崎市の教育の振興や発展に貢献する行動を行うようにする。 文化・スポーツ活動などが優れた人材を輩出する。			
事業の概要	茅ヶ崎市教育委員会表彰規定により教育に貢献した教育関係者や文化・スポーツ活動などが優れた生徒・児童を50団体(人)程度表彰する。また、特に功績のあったものは、国の叙勲等の制度で推薦する。							
対象	表彰の対象となる市民			事業の性質区分	定例・定型		業務計画	<input type="checkbox"/>
指標	表彰式の開催回数							
27年度(第2次実施計画)		28年度(第3次実施計画)		29年度(第3次実施計画)		30年度(第3次実施計画)		
目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
年1回	年1回	年1回		年1回		年1回		
事業費	実施計画事業費	—	519,000	431,000	378,000	※金額については1円単位で記入してください		
	予算額	519,000	519,000					
	決算額	509,063						
	執行率	98.1%						
	従事者数	0.36	0.53					
	職員	0.36	0.53					
	臨時・非常勤等							
財源内訳	特定財源							
	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
その他								
一般財源	509,063	519,000						

2 事業実施状況に対する評価

事業の必要性	
教育委員会は、茅ヶ崎市教育委員会表彰規程により、茅ヶ崎市の教育に振興した教育関係者や文化・スポーツ活動などが優れた生徒・児童並びに他の模範となる行為のあった者を11月1日に表彰している。また、平成26年度より、学校教育を支援するボランティア活動等功績のある方や市の教育政策の推進に貢献し活躍している方々へ感謝状の贈呈を行っている。さらに、叙位・叙勲についても国、県等を通じ、内申及び推薦を行っている。表彰等は、教育委員会がさまざまな活動に対する謝意を表すとともに、今後の活動継続の励みとし、更なる実践意欲の向上に資するため必要である。	
事業実施状況に対する分析(課題の抽出)	
事業成果	教育委員会定例表彰は規程により、表彰者を決定する。各年度により表彰者数は変動する傾向があり、規程(10年表彰等)により表彰者が増減する年度もあるが毎年50団体(人)程度を定例的に表彰している。 平成26年度から始めた教育委員会感謝状については、これまでは限られた学校支援活動の関係者等に送られているが、より多様な支援活動をされる方へ感謝状を贈呈することで、地域における活動の効果が高まると考えられることから、今後は教育委員会の全体から推薦を募ることとする。
事務効率	教育委員会表彰は内申の提出により、協議の上決定している。感謝状については、各課より推薦を受け状況を確認後協議し決定しているが、現行では各課に依頼した後、各課から各団体に再度依頼しており、結果が出るまでに時間を要するためあまり効率的ではない。
	
事業成果及び事務効率に対する評価	
成果があがっているが、実施手法は効率的でない	

3 今後の事業展開(事務改善)

今後の事業展開(事務改善)	
改善の方向性	27年度の評価を踏まえた28年度以降の取組内容
事業(活動)の効率・成果を高める	平成28年度は、教育委員会表彰を継続して実施するとともに、感謝状の被贈呈者の拡大を検討する。被贈呈者の拡大については、教育委員会内の情報交換を積極的に行うことで連携・協力をする。また、関係各課に対しても感謝状贈呈制度の周知を行い、各課が所管する団体へも理解を得ながら、この趣旨を理解した各関係者の推薦により新規の対象者を募れる体制の整備を進める。 感謝状贈呈に係る事務については、推薦や協議の過程について、関係各課への依頼の時期や各団体の会議日程などの状況等をふまえ、よりスムーズに行えるように検討を各課行う。

4 事業を構成する活動に係る改善内容

[illegible][illegible][illegible][illegible]